

海外安全対策情報（平成26年1月～3月分）

在ナイジェリア大使館

1. 全国

- (1) 1月、コレラが発生し、多数の死者が出た模様である。
- (2) 1月、同性愛禁止法成立。
- (3) 3月、ガソリンの供給が滞り、ガソリンスタンドに長蛇の列ができた。

2. 首都アブジャ

- (1) 3月、市内競技場で行われた入管当局の採用募集に、大勢の希望者が集まり、将棋倒しの結果7名死亡。なお、採用募集は全国で行われ、同様の事故で16名が亡くなった。
- (2) 3月、国家保安庁の留置所で、拘留者が脱獄を試み、銃撃戦となり21名が死亡した。

3. ラゴス

- ・同州キリキリ地区で、1月、タンクローリー車が爆発し、15名が死亡した。
- ・

4. 沿岸

- (1) 1月、リバース州ブラス地区、海賊がタグボートを襲撃し、船員2名を連れ去った。
- (2) 1月、ナイジェリア海軍が、海上で、誘拐されたインド人3名を救出した。
- (3) 3月、リバース州沿岸で、中国人22名が、不法滞在及び違法な漁業の疑いで逮捕された。
- (4) 3月、バイエルサ州で、石油窃盗事件。英国人2名、ナイジェリア人10名が逮捕された。

5. 南部

- (1) 1月、リバース州で、騒擾が発生した。同州知事の政党変更に始まり、議長再選禁止に対し裁判所での爆破事件、警察の少数民族への対応を巡りデモが発生し、警察の取り締まりで5名が死亡。同デモは、高速道路を封鎖し、警察と再び衝突。この間、上院議員が警察からゴム弾を撃たれたと発表すると、デモが拡大。警察は、他州から流入するデモ参加者約320名をイスラム過激派組織と関係しているとして取り締まった。
- (2) 3月、フランス人誘拐事件発生。詳細不明。

6. 中部

- (1) 2月、プラトー州で、部族衝突が発生し29名死亡、17名負傷。
- (2) 3月、ベヌエ州で、部族衝突が発生し55名死亡。

7. 北部

- (1) ボルノ州、ヨベ州では、ナイジェリア軍とイスラム過激派組織「ボコ・ハラム」が戦闘している。
 - ・「ボコ・ハラム」は、学校等を襲撃し、市民を連れ去り、戦闘に参加させている。
 - ・1月、ナイジェリア軍が、ボルノ州で、上院議員の車列を誤爆。
 - ・1月、イスラム過激派組織が、ボルノ州で、自動車爆弾自爆テロを行い43名殺害。

- ・ 1 月、イスラム過激派組織が、ボルノ州カウリ村を襲撃、8 5 名殺害。
- ・ 2 月、「ボコ・ハラム」が、ボルノ州内町村を襲撃、5 1 名殺害、2 0 名拉致。
- ・ 2 月、「ボコ・ハラム」が、ボルノ州イズゲ村を襲撃、9 0 名以上殺害。
- ・ 2 月、「ボコ・ハラム」が、ボルノ州バマ地区を襲撃、1 1 5 名殺害、1, 5 0 0 棟破壊。
- ・ 2 月、「ボコ・ハラム」が、ヨベ州ダマツリの寄宿学校を襲撃し、生徒 5 9 名殺害。
- ・ 3 月、イスラム過激派組織が、ボルノ州マイノム村で、結婚式、映画館等を襲撃し、9 0 名死亡。
- ・ 3 月、イスラム過激派組織が、ボルノ州マファ村を襲撃し、3 2 名殺害。
- ・ 3 月、多国籍部隊が、国境付近で、「ボコ・ハラム」を撃退し、武器を押収した。
- ・ 3 月、ナイジェリア教育省は、襲撃された学校 5 校を休校にした。ボルノ州政府は、高校の無期限休校（8 5 校、約 1 2 万人）も発表した。
- ・ 3 月、ナイジェリア軍発表。ボルノ州の国境付近で、「ボコ・ハラム」構成員 1 8 名を殺害、車両 1 3 台を破壊、火器押収。

(2) アダマワ州

- ・ 2 月、イスラム過激派組織が 6 町村を襲撃し、1 3 名を殺害した。
- ・ 2 月、知事の演説中、兵士が空に向けて発砲した（負傷者なし）。
- ・ 2 月、武装集団が、知事の車列に発砲（負傷者不明）

(3) カドゥナ州

- ・ 1 月、中国人 3 名が襲撃され、1 名死亡 2 名重傷。
- ・ 3 月、武装集団が、村を襲撃し、1 0 0 名あまりを殺害。

(4) バウチ州で、1 月、男性同性愛者 3 8 名が逮捕された。また、3 月には同性愛者 4 名がむち打ちの刑に処せられた。

(5) カツィナ州で、3 月、土地を巡って部族対立が発生。武装集団が、4 村、約 1 0 0 名余りを殺害した。